



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東 大

上場会社名 森下仁丹 株式会社

コード番号 4524 URL <http://www.jintan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 駒村 純一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 武貞 文隆

TEL 06-6761-1131

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,164	12.1	162	—	173	—	186	—
23年3月期第2四半期	3,713	△0.9	△102	—	△88	—	△88	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 243百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.16	—
23年3月期第2四半期	△4.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,701	7,426	69.4
23年3月期	10,415	7,234	69.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,426百万円 23年3月期 7,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	9.9	300	233.3	400	281.5	400	404.1	19.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	20,750,000 株	23年3月期	20,750,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	402,740 株	23年3月期	400,467 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	20,348,672 株	23年3月期2Q	20,352,094 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は当月8日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による様々な影響がありましたが、サプライチェーンの早期正常化や地デジの駆け込み需要などから個人消費にも持ち直しの兆しが見られました。しかしながら国内では本格的な復興や電力問題など課題が多く、海外では欧米諸国の財政問題に端を発する世界経済の減速懸念や為替相場の高止まりなどにより、景気の先行きには依然として不透明感が強まっております。当社グループの属する健康関連業界も、中高年を主体とした健康意識の高まりが持続しているものの、消費者の生活防衛意識による価格選好意識の高まりや異業種を含む大手企業の新規参入など当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループとしてはヘルスケア事業並びにカプセル受託事業の各々の事業において積極的な諸施策・諸活動を展開してまいりました。その結果、売上高は、4,164百万円と前年同四半期と比べ451百万円(12.1%)増収となりました。

利益面においては生産効率の向上による原価率の低減による粗利益の改善が大きく、効果的なプロモーション活動による経費の効率化が図れたことから営業利益は、162百万円と前年同四半期と比べ265百万円増益となりました。また、営業外損益では、研究開発の補助金収入がプラス要因となり経常利益は、173百万円と前年同四半期と比べ261百万円増益となり、四半期純利益は、186百万円と前年同四半期と比べ274百万円増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、主力商品「ピフィーナ」の売上高は前年同四半期と比べ約3割増と引き続き好調に推移いたしました。競合の激しい緑茶青汁他通販商品群が苦戦を強いられました。また、リテール分野では昨年より強化しているOTC医薬品や医療器具が好調に推移したこともあり、結果として売上高は、2,948百万円と前年同四半期と比べ286百万円(10.8%)増収となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンと経費の効率的運用に徹したことによりセグメント利益は、36百万円と前年同四半期と比べ207百万円増益となりました。

②カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品分野のカプセル受託は引き続き好調に推移し、さらに円高の影響を受けつつも受託先及び受託量の拡大に努力したことにより、売上高は、1,183百万円と前年同四半期と比べ164百万円(16.1%)増収となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンに注力したことからセグメント利益は、138百万円と前年同四半期と比べ63百万円(84.7%)増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、10,701百万円と前連結会計年度末と比べ285百万円(2.7%)増加となりました。総資産の内訳は、流動資産が、3,918百万円と前連結会計年度末と比べ245百万円(6.7%)増加となり、固定資産が、6,782百万円と前連結会計年度末と比べ40百万円(0.6%)増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加であり、固定資産の増加の主な要因は所有株式の時価評価に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、3,275百万円と前連結会計年度末と比べ93百万円(3.0%)増加となりました。負債の内訳は、流動負債が、1,763百万円と前連結会計年度末と比べ137百万円(8.4%)増加、固定負債が、1,511百万円と前連結会計年度末と比べ43百万円(2.8%)減少となりました。流動負債の増加の主な要因は、未払費用の増加であり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金の約定返済によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、7,426百万円と前連結会計年度末と比べ191百万円(2.6%)増加となりました。これは利益剰余金の四半期純利益による増加186百万円と、配当による減少50百万円及びその他有価証券差額金の増加56百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,988百万円と前連結会計年度末と比べ303百万円(18.0%)の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は534百万円(前年同四半期は28百万円の増加)となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益199百万円、減価償却費206百万円と売上債権の減少66百万円などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は129百万円(前年同四半期は99百万円の減少)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得130百万円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は100百万円(前年同四半期は160百万円の減少)となりました。その主な要因は、長期借入金の返済50百万円や配当金の支払50百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関する事項については、平成23年11月9日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,685	1,988
受取手形及び売掛金	881	815
商品及び製品	506	476
仕掛品	272	277
原材料及び貯蔵品	254	265
その他	80	102
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	3,673	3,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,592	2,529
機械装置及び運搬具（純額）	648	634
土地	2,025	2,025
建設仮勘定	12	50
その他（純額）	200	215
有形固定資産合計	5,479	5,455
無形固定資産	169	155
投資その他の資産		
投資有価証券	922	989
その他	178	189
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,093	1,171
固定資産合計	6,742	6,782
資産合計	10,415	10,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	898	908
1年内返済予定の長期借入金	100	100
未払法人税等	30	17
賞与引当金	102	105
返品調整引当金	16	16
その他	478	616
流動負債合計	1,626	1,763
固定負債		
長期借入金	650	600
繰延税金負債	531	541
退職給付引当金	312	323
その他	60	46
固定負債合計	1,554	1,511
負債合計	3,181	3,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	2,959	3,094
自己株式	△132	△133
株主資本合計	7,327	7,462
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	△92	△36
その他の包括利益累計額合計	△92	△36
純資産合計	7,234	7,426
負債純資産合計	10,415	10,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,713	4,164
売上原価	1,937	1,904
売上総利益	1,776	2,260
販売費及び一般管理費		
販売促進費	353	333
広告宣伝費	298	418
人件費	452	506
賞与引当金繰入額	58	60
退職給付引当金繰入額	16	20
貸倒引当金繰入額	4	4
その他	694	753
販売費及び一般管理費合計	1,878	2,097
営業利益又は営業損失(△)	△102	162
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
研究開発補助金	17	12
その他	5	3
営業外収益合計	30	23
営業外費用		
支払利息	10	8
その他	6	4
営業外費用合計	16	13
経常利益又は経常損失(△)	△88	173
特別利益		
投資有価証券売却益	18	—
販売権譲渡益	—	28
特別利益合計	18	28
特別損失		
固定資産処分損	0	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
その他	2	—
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△74	199
法人税、住民税及び事業税	14	10
法人税等調整額	△0	3
法人税等合計	14	13
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△88	186
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88	186

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△88	186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	56
その他の包括利益合計	△11	56
四半期包括利益	△100	243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100	243

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△74	199
減価償却費	182	206
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
返品調整引当金の増減額(△は減少)	13	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	9	2
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	10	8
投資有価証券売却損益(△は益)	△18	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
固定資産処分損益(△は益)	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	△96	66
たな卸資産の増減額(△は増加)	26	14
仕入債務の増減額(△は減少)	19	9
その他	△35	46
小計	45	559
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	△10	△8
法人税等の支払額	△14	△23
営業活動によるキャッシュ・フロー	28	534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112	△130
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	19	—
貸付けによる支出	△32	△0
補助金収入	36	24
その他	△7	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△60	△50
配当金の支払額	△99	△50
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160	△100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△231	303
現金及び現金同等物の期首残高	1,708	1,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,476	1,988

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	連結財務諸 表上計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,662	1,018	3,680	32	3,713	—	3,713
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	127	127	△127	—
計	2,662	1,018	3,680	160	3,841	△127	3,713
セグメント利益又は損失(△)	△170	74	△95	△6	△102	—	△102

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおりません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	連結財務諸 表上計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,948	1,183	4,131	32	4,164	—	4,164
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	120	120	△120	—
計	2,948	1,183	4,131	153	4,285	△120	4,164
セグメント利益又は損失(△)	36	138	174	△11	162	—	162

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。